

フルミスト(経鼻インフルエンザワクチン)について

フルミストは、鼻に噴霧するタイプのインフルエンザワクチン(生ワクチン)です。2003年に米国で認可され、2011年からは欧州でも認可されており、現在欧米では主流のインフルエンザワクチンです。日本ではまだ認可されていませんが、特に小児においては従来の不活化ワクチンより予防効果が高いことから、希望者に対し輸入ワクチンの接種を行う医療機関が増えてきています。

現在のインフルエンザワクチンは血液中に抗体を作るため(IgG 抗体)、重症化の予防は可能ですが、インフルエンザウイルスの鼻やのどからの侵入を阻止することがほとんど出来ません。フルミストは鼻やのどに抗体をつくるので(IgA 抗体)、ウイルスの侵入を阻止することができ、同時に血液中にも IgG 抗体を作るので、予防効果が高いだけでなく、感染しても重症化を予防することが出来ます。

接種対象年齢: 2 歳以上 50 歳未満

効果の持続期間: 1 シーズンを通して

投与方法: 両方の鼻腔に噴霧

接種回数: 1 回。ただし、2~8 歳で、過去に 1 回もインフルエンザワクチンを接種したことがない方のみ 4 週あけて 2 回接種となります。

接種できない方

- 卵・ゲンタマイシン・ゼラチン・アルギニンに強いアレルギーがある。
- 2~17 歳で、アスピリンかアスピリンを含む薬を内服している。
- 5 歳未満のお子さんで今までに喘鳴を指摘されたことがある。1 年以内に喘息発作があった。
- 妊娠中または 2 歳以下のお子さんに授乳中。
- 心疾患、肺疾患・喘息、肝疾患、糖尿病、貧血、神経系疾患などの慢性疾患がある。
- 免疫不全がある。造血幹細胞移植など、重度の免疫不全の方と同居している。
- ギラン・バレー症候群の経験がある。
- 生ワクチン接種後 4 週間未満。
- タミフルなどインフルエンザの薬を服用している。

その他、鼻水・鼻づまりがひどい場合は、接種できないときがあります。

副反応

咳や鼻水、鼻づまり、胃部不快感などが起こることがあります。その他、通常のインフルエンザワクチンと同様の副反応が起こる可能性があります。ただし頻度は非常に少ないとされています。

その他の注意点

- ・フルミストは日本では未承認のワクチンのため、万が一重篤な副反応が生じた場合、医薬品副作用被害者救済制度が適用されません。
- ・他のワクチンとの同時接種はできません。

予約方法

フルミストについて上記の内容をよくお読みいただき、接種可能であることをご確認ください。もしも不明な点があれば、ホームページの「お問い合わせ」からご連絡ください。メールでお答えします。

接種の予約は、電話または受付で直接お申し込みください。輸入ワクチンのため、当院での在庫は 100 本になります。予約が予定の本数に達した場合、その時点で予約は終了させていただきます。

接種開始は 11 月 10 日からの予定です。

接種費用は 1 回 8500 円となります。